会議名称： 平成２９年度１２月期古賀市社会教育委員の会議
日　　時： 平成２９年１２月２０日（水）　１９時～２１時
場　　所： 古賀市役所　第２委員会室
主な議題：①「第５回古賀市生涯学習笑顔のつどい」について
傍聴者数：なし
出 席 者：松本議長、松末副議長、船越委員、角森委員、國友委員、
佐々木委員、上野委員、檜山委員、村山委員
（以上委員９名）
大神健治氏（説明者・「古賀すたいる」理事）
力丸課長、柴田参事補佐、野田
欠 席 者：平島委員
事 務 局：生涯学習推進課社会教育振興係
配布資料：①レジュメ
会議内容：以下のとおり

委員：
皆さんこんばんは。
今日は「古賀すたいる」さんにお忙しい中、お越しいただいています。ありがとうございます。
今までは実際報告は社会教育関係団体ということで、存在が見える団体が多かったんですが、「古賀すたいる」さんについては、「せんきょ割」とかの活動で知ってはいたんですが、なかなか実態がつかめないという、新しいスタイルの社会教育関係団体ですので、お忙しいところ申しわけないんですがお話を聴かせてさせていただきたいということで、お願いして来ていただいています。よろしくお願いします。
それではただ今から、１２月期の古賀市社会教育委員の会議を始めます。
早速ですが、協議事項に入ります。
まず始めに、「第５回古賀市生涯学習笑顔のつどいについて」ということで、事務局からお願いします。

事務局：
先月の会議で実践報告とアトラクションの団体さんの候補をいくつか決定をしています。その一覧を皆さんにお配りしているところです。
先々月の会議で、先ほど議長もおっしゃったように「古賀すたいる」さんがどういった団体さんなのか、直接お話をお伺いしようということになりましたので、「古賀すたいる」さんのお話をお伺いしまして、また前回候補に挙げた団体の確認をしていただきたいと思います。
早速ですが、お話をお伺いしたいと思いますので、よろしくお願いします。

説明者：
皆さんこんばんは。「古賀すたいる」という団体の大神と申します。

今回、発表についてご相談しましたところ、このような機会をいただきましてありがとうございます。

お時間をいただいて、少し「古賀すたいる」とはなんぞや、という話と、なぜ「笑顔のつどい」の出演を希望したのか、ということをお話したいと思います。

事前に作成した資料を見ていただきながら、説明しますので疑問点がありましたら、時間の許す限りお答えしたいと思いますので、どうぞよろしくお願いします。また、「古賀すたいる」のメンバーは乳幼児がいる女性がほとんどですので、今回は私が説明をしたいと思います。

「古賀すたいる」で活動をいくつかしていますが、古賀市長選挙が来年度行われることもありまして、できれば「笑顔のつどい」では、「せんきょ割」という活動に焦点を当てた発表をしたいと思います。もちろんご提案いただいて、「この話題でやるように」ということであれば、その内容で行いますのでよろしくお願いします。

最初に、「古賀すたいる」とは何ぞや、というところを説明したいと思います。

基本的にはブログを書いている、あるいはフリーペーパーを出している、そういった情報を収集して発信を行う市民活動団体です。また活動の基盤として、出発点として社会教育・生涯学習の考え方を大事にしているつもりで活動しています。

２０１３年の１１月ぐらいに団体として活動を始めていますが、そのきっかけは２０１３年に古賀市教育委員会で開催された、広報に関する講座に受講した仲間で、「もっと学びを続けたい」、「今回の講座で得たことを実践してみたい」、「そこで会った仲間と何かやってみたい」、そういったところから始まりました。市民活動団体あるいは生涯学習の団体として、市民活動支援センターに登録し、いろんな気づきをいただいたり、また古賀市の社会福祉協議会にもボランティア団体として登録したり、県のアンビシャス運動の登録をしてます。つい最近では、１１月に「せんきょ割」の活動を通じて賞状をいただきましたので、紹介しています。

先ほど、ブログを書いている、フリーペーパーを出している、というふうに申し上げましたが、自分自身も１０何年ぶりに古賀にＵターンして５年くらい経ちますが、古賀という町自体がすごくおもしろいと思っています。

Ｕターン組なものですから、知ってたつもりで帰ってきたら全然知らなかったということがあまりにも多く、それは今も現在進行形で続いてるんですが、そういうことだったら日ごろの感動を文書なり写真なりで残していけばおもしろいかな、と続けています。他にもＩターンやＪターンの人が多いんですが、そういう仲間が中心になって動いているという状態です。

メンバーは自分の職業のかたわら活動していて、自分たちだけでやるのも大変なので、どうせならもっといろんな方に楽しんでもらいたいな、というところで、例えばインスタグラムという最近のＳＮＳですが古賀市役所さんと一緒にフォトコンテストを行っています。そうすると、いろんな市民の方がフォトコンテストに参加されて、古賀の素材を使った写真を投稿してくださり、「古賀ってこういうところがあるんだな」と、活動する自分たちも知らなかったものというのがたくさん出てきてすごく楽しいなと思っています。

民間のボランティア団体としてやっているので、いろんなお店にもご協力いただいてお店の風景を紹介させていただいています。お店で活動をしていく中で、できれば読者の方といろんな出会い、実際にたく

さんの方と楽しみたい、ということもありまして取材先の方にもお願いして、イベントをして"face to face“の活動もしています。例えば、工務店さんに講師をお願いして、廃材を使って空き店舗の壁づくりをしてもらったりしています。

教育委員会の皆さんにも、研修棟の閉館のときにワークショップを一緒に企画をして、研修棟に思い入れがある方々と一緒に振り返るようなイベントをしたりしています。

研修棟の昔の話もありましたけれども、さらに昔の話も古賀のことを調べていく中でいろいろわかりしまして、ご記憶ある方もいらっしゃるかもしれませんけど、古賀駅前の風景、映画館やボーリング場があるとか、自分もまだ生まれていない時代の話を、コスモス市民講座で話をしたら多くの方に楽しんでいただき、古賀のことが大好きな方がたくさんいるということを実感できる機会がありまして、世代と時代を越えて古賀のことを語りあえる、こういう活動を続けてよかったな、と思っています。

また、「古賀すたいる」で出会った取材先の方々と何か楽しいことができないかな、そういう思いで２０１５年の４月に市議会議員の選挙の際に、「せんきょ割」というのをやったらおもしろいんじゃないかな、と始めてみました。それは、選挙に行くと証明書を選挙管理委員会さんが発行してくださるので、この証明書をもってお店に行くと何かいいことがある、具体的にどこの店に行くとどんなことがある、ということで、いくつかの市内のお店が協力をしてくださいました。

証明書を１枚持ってお店をいくつも訪ねるので、スタンプをどんどん集めていくと、スタンプラリーをしているみたいになって楽しい、とすごく喜んでもらえている、と思っています。この活動は新聞に紹介されたこともあります。

こういった活動で、「古賀すたいる」を何となくご存じいただいているかな、と思いますが、「せんきょ割」と同じノウハウを使って最近「けんしん割」という形で、特定健診を受けると証明書がもらえて店に行くと特典がある、これは国民健康保険の方だけの取り組みですが、「せんきょ割」のノウハウを使うと、こんな古賀の楽しみ方が新しくできるのかなと思っています。「せんきょ割」や「けんしん割」以外にも、生涯学習推進課のウォーキングイベントや介護支援課の講座などで、役割をいただいて楽しんでいるところです。

あともう１つ、今年度の「笑顔のつどい」も対象だったそうなんですが、介護支援課のお出かけハンドブックという冊子も作成しました。「古賀すたいる」のブログなどの取材先にお願いして、たくさんおでかけをしたら、抽せんにはなりますがいろんな古賀のものが当たる、といったものです。

この事業も「古賀すたいる」の活動を通して集まった、古賀の情報を古賀の方にお届けし、楽しんでいただいているかな、と思います。

ここまで、「古賀すたいる」は何ぞや、という話をしました。その上で、ぜひ来年度「生涯学習笑顔のつどい」に関わらせていただけいただけないだろうかと、思っています。関わらせていただくからには、ぶしつけながら３点ほどですが、社会教育・生涯学習に何か有益に貢献ができるのではないかと思っています。

１点目は、「古賀すたいる」は、行政や企業、事業者の方々、ＮＰＯ団体、自治会、校区コミュニティの皆さんといろいろ活動させていただいてます。「せんきょ割」に関しても、証明書を選挙管理委員会さんを発行され、「古賀すたいる」で取材をした飲食店さんにお願いしたものを、選挙管理委員会さんがチ

ラシとして印刷し、そのチラシを行政区の自治会役員さんたちに配っていただく。またサンリブさん、企業さんが投票所として場所を貸してくださる。そして、「せんきょ割」のチラシを立会人さんや市の職員さんが配ってくださる。こういう役割分担というのがご報告できるかなと思っています。

２点目ですが、来年、古賀市で選挙がありますが、投票率が平成になってから波はありますが、微妙に下がっています。ただ、「せんきょ割」だけではないと思うんですけれども、「せんきょ割」をやってここ３回ぐらいは上向きになっていると思っています。次回の選挙ももうちょっと投票率を上げたい、いうところがあります。１１月から１２月に選挙があると聞いてますけれども、それに合わせた形で「笑顔のつどい」で場をいただけると有権者の方、２０代や３０代とか、他の世代の方々に、選挙自体に関心を持っていただけるかな、と思っています。

最後に３番目ですが、あくまで「古賀すたいる」の報告になりますが、第２次生涯学習基本計画の中でも、事業所さんを含むいろんな方々が、いろんな学びの機会を提供していくことを目指しておられ、それを実現するために「笑顔のつどい」があると伺っています。

「古賀すたいる」の紹介というよりも、こういった社会貢献活動に取り組んでくださった事業者の方々を、無理のない形でご紹介することで、生涯学習という社会教育の領域をもっと広げていくことに貢献させていただけたらいいな、と思います。紹介している新聞記事では、商店街活性化と書かれていますけれども、学びの裾野の広がりという形でつながっていければいいな、というふうに考えています。次回に限らず、何かの形でこの分野に貢献していきたいと思っておりますので、ご検討ください。

ご清聴ありがとうございました。

委員：

お忙しいところ、わかりやすいプレゼンを作っていただきありがとうございました。

せっかくの機会ですので、何かお聞きしたいことがありましたらお願いします。

委員：

いろんな活動を工夫されているのがよくわかりました。

活動のヒントになる、というか、どのニーズで企画を出して、こういう活動をされているのか、お尋ねします。

説明者：

まず１つは古賀に帰ってきて、今でこそ「おるね」さんなどのいろんな媒体が少しずつ増えてきたと思いますが、個人的な経験ですが、帰ってきたときに何も暮らしの情報がなく、悔しさみたいなものがありました。

もう１つは個人的ですが、紙でしかわからない情報で漏れてる情報を見つけたい。そうすると古賀が楽しくなるかな、と思いました。自分も関東から古賀の様子をネットから見ていたので、ネットを使って何か古賀の情報発信をしていくと、古賀が少しずつでも楽しいと思える人が増えるんじゃないか、と。これには仲間も同じような思いを持っていましたので、今も続いています。

委員：

いろんな形態で古賀の情報発信していただきまして非常にありがたいと思うんですけども、ブログを通じて古賀のよさを発信しておられますが、ブログのアクセスといいますか、市内はもちろん県外のアクセス数はわかりますか。

説明者：

あくまでシステムとしての見え方なんですが、大体ここ最近は１日１，０００人ぐらいの方が見てくださっているとシステムでは表示されています。ホームページを定期的に見てくださっているのが、大体１日１，０００人ぐらいの方です。あとは、なるべく情報を広げたいなと思って、ツイッターやフェイブックをやっているんですけども、そっちで見ると大体５００人くらいは少なくとも見ているというふうに表示されます。そういう中で定義にもよるんですが、５００から１，０００人ぐらいの方が毎日見てくださっていると認識しています。

委員：

私も寿屋の写真を見て懐かしく思ったんですよね。あそこで息子のランドセルを買ったな、とかですね。この「古賀すたいる」さんのような発信の仕方は、他の地域でもありますか。参考にしたようなものはありますか。それともまったく純粋に作ったものですか。

説明者：

参考にしたものはいくつかあって、１つは大阪府の「枚方つーしん」というものを参考にしています。そちらも枚方市の企業の育成から始まっていますが、行政の制度に乗って市民の方がそういう運動体をつくって、市民の方を巻き込んで地域の情報を見つけて紹介をしていて、すごく楽しそうに活動しておられます。

委員：

「古賀すたいる」の名前の由来はありますか。

説明者：

答えを持ちづらいままきているんですが、自分がＵターンする前に長崎にいまして、歴史や文化である意味固まっている、伝統があるという理由ゆえに、かなり制約のある町に過ごしてたことがありまして、古賀に帰ってくるとそういう制約条件がかなりゆるいかな。逆に『特徴がないのが特徴』という、先輩の言葉もあるみたいですけれども、逆に言えばいろんな選択肢、形状が取りうる町として古賀に暮らす皆さんそれぞれのスタイルが取りうるんじゃないかというところで、多様性を意識して、「古賀すたいる」という名前に至っています。

委員：

今、古賀市の人口が５万８千人で、舞の里や美明などもいろいろ開発されましたが、なかなか６万人を超えられず、日本全国的に同じなんでしょうが、地域、地縁関係が希薄になってきている部分があって、この「古賀すたいる」のメンバーを見ると、ＵターンやＩターン、それから結婚で転入された方が情報発信することによって、そういったコミュニティというか、こういった活動を通しての手ごたえはありますか。

説明者：

自分たちの活動は、地縁的なコミュニティを尊重しながら、志縁的なコミュニティをつくっているのかなと思っています。

先ほどご報告しましたが、読者の方との交流会や取材先の方々との交流会のようなものをなるべく大事にしていて、それで読者の反応を把握しつつ、また新たな読者を開拓したりネタを拾ったりしていますが、志縁の「古賀が何かおもしろそうだな」、「古賀をもうちょっとおもしろくできたらいいな」というコミュニティ自体は、少しずつ作っていけているのかなと思います。

また、取材先に自治会や校区コミュニティ、体育協会、文化協会の方々がいらっしゃいますし、文庫活動されてる方にも取材をしてご紹介しています。そうすると新しいコミュニティができ、少し広がりができたんじゃないか、あるいはこれからするんじゃないか、ということで、地縁的なコミュニティにも何か貢献ができればいいのかなと思っています。

あとは、いわゆる定住的な意味で言ったときに、今活動してきたメンバーで、福岡都市圏に転勤になって住むところを決めるときに、たまたま「古賀すたいる」を見つけて、「福岡都市圏で暮らす町は古賀市にしよう」と思ってくださった方が２家族いらっしゃって、そういう定住促進という意味で貢献できているかなと思います。

さらにもう１つ追加すると、住んでる方こそ５万８千人ですが、通勤・通学の方が１万４千人、たまたま通り過ぎている方は数知れず、という状態ですので、通り過ぎているにしても「古賀ってどこかな」、「古賀サービスエリアで休憩するときに何かないかな」と思ったときに、「古賀すたいる」に出会えば古賀での買い物が増える、とかといった何らかの貢献はあるのかなと思っています。

事務局：

前々回の議事録をごらんいただいたかと思うんですけども、２点ほど皆さんの中で質問がありまして、まず１点目が、今のお話を聞けば十分わかるんですけど、「古賀すたいる」を生業とされているんじゃないか、というのが皆さんのご質問の中でありましたので、まずどうやって会を運営されているのか、ということ。２点目が「古賀すたいる」さんのホームページを印刷して、皆さんにお配りした関係で、会のメンバー紹介で「事情があって名前が出せません」ということはどういうことだったのか、ということでした。

以上、質問が２点ほどありましたので、それについてお答えいただければと思います。

説明者：

基本的にボランティア団体、ＮＰＯ団体と思っていただければと思っています。基本的に会員が１０名ほどいますがその正会員収入。さらにホームページのバナー広告費、賛助会費収入か広告事業収入という形です。それとイベント絡みの助成金として、今年度限りですけれどもキリン福祉財団さんから助成金をいただいています。あとは、フリーペーパーを発行するための補助金として古賀市より公募型補助金。最近、読者の方々との交流イベントで『わくわくサロン』を行っていてその出店料。これは手づくりで子どもたちのために、あるいは、お母さんのためにといった思いがある方々に、イベント出店をしていただいてまして、イベント自体はお金があまりかからないんですが出店いただいています。これを補助金とか助成金以外のお金として、うまく活用しているところです。こういったイベントの出店収入だとか広告収入については取材先の飲食代や交通費など、そういうことに使わせていただいています。

また、使途が決まっている、助成金や補助金に関しては、印刷物やイベントごとのチラシの作成費や、配布するための新聞折り込みの経費などで、適切な使い方をさせていただいています。

もう１つの質問が、なぜ自分は顔と名前を出してないのかというところなんですけど、１つは恥ずかしいから、というのと、本業が別にありますのでそちらの整合性といいますか、本業と切り離してやっていますが、勤務先や取引先からの誤解を招かずに活動を続けやすい環境をつくるため、という理由です。

取材先の方々の紹介をする時に、ネットを使いますので匿名にしたり顔写真を加工したりしますが、その一環、ということでご理解いただきたいと思います。

ただ、このご質問をいただいて、顔を出したほうが皆さんに安心していただけるのなら出して行くことも検討しようかと、新しい発見をいただきました。

委員：

他にないようでしたら、これで質疑を終了したいと思います。お忙しいところありがとうございました。

（説明者、退席。）

委員：

それでは、「笑顔のつどい」について、事務局からお願いします。

事務局：

先ほども申し上げましたように、前回の会議で出た推薦団体を、皆さんに挙手いただき決定した団体は、アトラクションの１つ目が「なないろハーモニー」さん。こちらが恐らく出ていただけるだろう、ということで決定いたしておりまして、２つ目の第１候補が「カチカチ会」さん、第２候補が古賀市内の中学校の吹奏楽部などの活動。また、実践報告団体が先ほどの「古賀すたいる」さんを決定とした場合、その他の第１候補が通学合宿、その中でも１番目が青柳小校区、２番目が小野小校区。第２候補はＮＰＯ法人九州山口Ｃｏ$_2$カウンセラー協会さん。第３候補がアンビシャス広場で、その中でも１番目が「舞っこアンビシャス広場」、２番目が「千鳥チャレンジ・アンビシャス広場」ということで出していただいておりま

す。
　先ほどの「古賀すたいる」さんの発表も含めまして、確定をしたのち、改めて、団体へ交渉していきたいと思いますので、ご協議をよろしくお願いします。

委員：
　では実践報告を決めていきたいと思います。
　「古賀すたいる」さんが自薦ということですので、問題がなければ「古賀すたいる」さんが第１候補としていきたいと思います。ご意見のある方いらっしゃいますか。

（意見なし。）

委員：
　特にないようですので、実践報告の１本目は「古賀すたいる」さんということで決定しました。
　後は事務局の方で、通学合宿、ＮＰＯ法人九州山口Ｃｏ$_2$カウンセラー協会、アンビシャス広場の優先順位であたっていただくということで、よろしくお願いします。
　アトラクションの２本ですが、１本目は「なないろハーモニー」で決定ということで、２本目は紙芝居の「カチカチ会」。もしそれがダメならば、市内の中学校の吹奏楽部の発表ということですが、よろしいですか。

（意見なし。）

委員：
　それでは事務局、よろしくお願いします。「笑顔のつどい」の協議については、これで終了します。
　では続きまして、報告事項ということで、今日は委員が日頃、活動してるとことについて御報告をお願いしたいと思います。

（委員より活動報告。）

委員：
　今年度は社会教育委員の活動報告ということで、皆さんがどんな活動をされているか、交流しようということでやっていますが、みなさんがどんなところでご活躍されてるのか、ご苦労されているのか、それをする中での喜びや感動や、具体的な活動を通じてお話していただくことは、私たちも元気をいただく、というか、元気を引き出していただいて、皆さん本当にお忙しいと思いますが自分も頑張っていこう、というモチベーションを高めていただき、本当によかったと思います。
　それでは「報告事項⑵平成３０年度福岡ブロック社会教育委員研修会について」に移ります。事務局お願いします。

（事務局より、「平成３０年度福岡ブロック社会教育委員研修会」について、説明。）

委員：

今年度は糸島市でありましたが、社会教育委員の皆さんは忙しく、私と事務局で参加しました。

昨年度の研修会の会場は古賀市の交流館で行われて、発表は篠栗町でした。来年度は、福岡ブロックと糟屋地区の社会教育の研修会を兼ねて行われるということで、平成３０年１０月１０日水曜日午後から、場所は篠栗町のクリエイト篠栗で行われます。

報告は各自治体に負担がかからないようにということで、昨年度糟屋地区で発表していただいた篠栗町と今年度発表していただく志免町、この２つの実践報告をやることになりました。ぜひ１０月１０日は予定をあけておいていただいて、志免町さんと篠栗町さんが代表で発表いただきますので、応援という意味でも、なるべく多くの方に参加いただきたいと思います。

次に、「⑶平成２９年度九州ブロック社会教育研究大会宮崎大会について」、参加できなかった皆さんに還元するという意味でも、参加された方に報告いただいて、社会教育のこれからの参考になればと思います。

（委員から「平成２９年度九州ブロック社会教育研究大会宮崎大会」について報告。）

委員：

社会教育委員は子どもや地域の人のやる気や意欲を引き出すコーディネーターであるということですので、我々は研修会に参加し、いろんな実践を聞きながら学び、そして自分の持ち場に帰って地域でそういった役割ができたらいいなと思います。

それでは「４．その他」にいきたいと思います。

まず、「⑴各委員から」、ということで、何かご紹介がありますか。

（委員から、「西日本新聞１１月１９日付『教育はいま・初めての体験学習』」について「古賀西校区コミュニティだより」、「市議会だより」の紹介。）

委員：

では、「⑵「親子ｄｅコミュニケーション』リーフレットについて」、「⑶『平成２９年度子ども会育成会加入率について』」、「⑷平成２９年度教育委員と社会教育委員の懇談会について」、「⑸平成２９年度糟屋地区社会教育委員研修会について」、「⑹第６回みんなの人権セミナーについて」、事務局からお願いします。

（「『親子ｄｅコミュニケーション』リーフレットについて」、「平成２９年度子ども会育成会加入率について」、「『平成２９年度教育委員と社会教育委員の懇談会』について」、「平成２９年度糟屋地区

社会教育委員研修会について」、「第６回みんなの人権セミナーについて」、事務局より説明。）

委員：

　それでは、おわりの言葉を委員よろしくお願いします。

委員：

　お疲れさまでした。